

JP Utility Model Registration No. 3001425

TITLE: AUTOMATIC SKEWER GRILLING APPARATUS

Abstract:

The present invention relates to an automatic skewer grilling apparatus. A timing belt circulating from top to bottom is disposed in front of an upper side of a body. A skewer supporting part is provided around front and rear of a heating part. Each rotating gear equipped on a plurality of skewers on the skewer supporting part is gear-combined with the gears of the timing belt.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11)実用新案登録番号

第3001425号

(45)発行日 平成 6年(1994) 8月30日

(24)登録日 平成 6年(1994) 6月22日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 7 J 37/04

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

B 7804-4B

F I

技術表示箇所

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21)出願番号

実願平6-1201

(22)出願日

平成 6年(1994) 2月25日

(73)実用新案権者 390033396

ヒゴグリラー株式会社

大阪府大阪市平野区加美東 6 丁目15番41号

(72)考案者 肥後 政彦

大阪府大阪市平野区加美東 6 丁目15番41号

(74)代理人 弁理士 辻本 一義

(54)【考案の名称】 自動串焼機

(57)【要約】

【構成】 機台2の前側上部に歯付面を上下にして循環走行するタイミングベルト3を配設すると共に、加熱源1の前後に串載せ8を設け、この串載せ8に載せる複数の焼串10に設けたそれぞれの回転ギヤ10aを前記タイミングベルト3の歯付面に噛み合わせたものとしている。

【効果】 焼串10がスリップしたり外れたりすることがなく焼串10が確実に回転するので、焼串10に刺した鳥獣肉や魚介類、野菜類などをひっくり返さなくても自動的に満遍なく焼くことができるものとなった。しかも、焼串10が多数になってもこれら焼串10に刺した鳥獣肉や魚介類、野菜類などの焼き具合を常に確認することができるので、焼き過ぎて焦がしてしまうということもなくなった。また、作業者が串焼機の加熱源1から少し離れて焼き具合を見られるので、煙りをまともにかぶったり、暑いなどということはなくなり作業条件が改善されたものとなった。

